

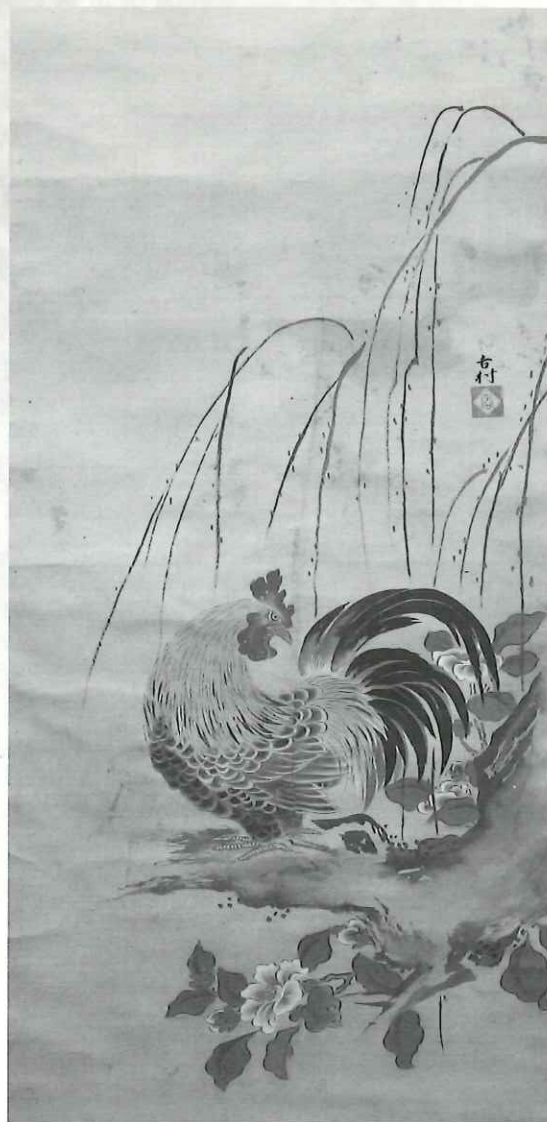
十二支と福よぶ動物

古くから人間と動物のかかわりは深く、美術工芸品や歴史資料には多くの動物たちが表されてきました。時として動物は、吉祥文様や縁起物として表され、また、人間にとつての神様やお守りとして姿を変え、数々の願いや様々な意味が込められてきました。本展ではそれらの動物に焦点を当て、「十二支と福よぶ動物」をテーマに登米市内に伝わる資料を中心に紹介します。



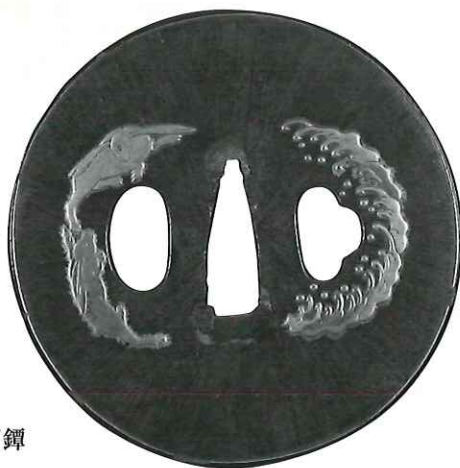
瓶花に鼠図

蒲生羅漢筆 弘化2年(1845) 個人蔵



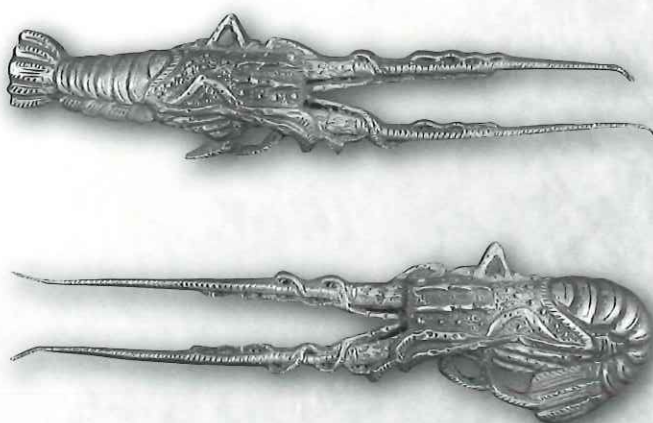
鶏図

伊達吉村筆 江戸時代中期 個人蔵



波に兎図鐔

個人蔵



伊勢海老図目貫

個人蔵

【展示解説】

企画展示室(入館無料) 時間/11:00~11:30

▶令和6年

11月2日(土)、11月3日(日)、11月23日(土)

▶令和7年

1月12日(日)、1月13日(月)、2月16日(日)

